

南部地域療育センターそよ風 2019 年度保護者向け自己評価アンケート集計

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	保育者の評価を踏まえた 改善目標
環境 ・ 体制 整備	①	子どもの活動等の スペースが十分に 確保されているか	73%	24%	3%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肢体不自由の子には狭い保育室がある。 ・ スペースは十分と思う。 ・ 動きの多い子が入ってくると心配な時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育室の拡充はすぐにはできませんが、子どもの状況に応じて保育室を決めるなどの配慮をすすめます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	69%	22%	7%	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師の配置がもっと欲しい。 ・ 障害の程度により、もう少し増やしてほしい。 ・ 足りないのは、訓練や診療の職員と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、行政に現状を伝え、改善を要求します。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。またバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	67%	24%	2%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手すりが無い。 ・ 本館は少しだが段差がある。 ・ バギーには移動が大変だと思う箇所もある。 ・ 駐車場を拡充してほしい。 ・ 子ども目線になっていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場については2020年度に一か所確保し拡充します。 ・ 本館には使いづらいところもあるかと思っておりますので、具体的に伝えていただき、改善できると事を検討します。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子どもたちの活動に合わせた空間になっているか。	71%	24%	5%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレはもう少し広い方がいい。 ・ 清潔だと思う。 ・ 施設が古く汚い。 ・ 本館は築年数がたっているので劣化を感じる。 ・ 手洗いの水がこぼれやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本館と西館では築年数がかなり異なります。本館では危険箇所も含め適宜修繕を行っていきます。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	96%	4%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細かく丁寧に、こちらの思いを汲んだ計画を作っていた。 	
	⑥	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されている	69%	13%	0%	18%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定されている。 	

	か						
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	84%	11%	0%	5%	・結果できることが増えたと思う。 ・行われている	
	⑧ 日々のあそびや生活が、子どもに合わせて柔軟に工夫されているか	87%	9%	0%	4%	・達成されたことから、さらに次の取り組みへと柔軟に対応してもらっている。 ・いろんな遊びを提供されている。	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、地域の子どもと活動する機会があるか	9%	24%	47%	20%	・隣に保育園があるのに、一緒に活動する機会は少ない。 ・もう少し健常児との交流が欲しい。 ・園庭で一緒にあそぶ程度。 ・同じ敷地内の保育園と同じ空間であそんでいる。	・子ども一人ひとりの状況を踏まえ、意図的な交流保育等を検討します。 ・園庭を積極的に利用し、日常的な交流を図ります。
保護者への説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	90%	5%	0%	5%	・入園式や親の会で丁寧に説明されている。	
	⑪ 「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	89%	4%	0%	7%	・されている。	
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（子どもと一緒に捉え、理解を深める支援）が行われているか	71%	13%	5%	11%	・勉強会など学ぶ機会を通して、考えさせられています。 ・アドバイスはどの職員も丁寧である。	
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	87%	9%	0%	4%	・日頃から細やかに声かけてもらって、とても助かっている。	
	⑭ 定期的に、保護者	96%	2%	0%	2%	・就学後の相談の場が不安。	・就学後も気軽に足を運んでく

	に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか					<ul style="list-style-type: none"> ・個別に面談がある ・連絡ノートや直接でも、よく相談している。 ・園で起きたことを報告してくれて、解決しようとしてくれる。 	<p>ださい。また学校訪問や園訪問を行い、そよ風での配慮してきた事項など丁寧に引き継ぎます。</p>
	⑮ 保護者会の活動支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	89%	7%	0%	4%	<ul style="list-style-type: none"> ・親の会により、親同士が連携していると思う。 ・他の保護者からいろんな話を聞けて、ためになっている。 	
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	78%	18%	2%	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・申し入れに対して理解してもらえないことがあった。 ・親身に対応してもらっている。 ・担任にもよる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任によって違いがないよう、園としての方針や具体的な対応をしっかりと伝えられるよう、職員集団での意思統一を図ります。
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	87%	11%	0%	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対して、工夫してコミュニケーションを取ってくれる。 	
	⑱ 定期的に園だよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	80%	9%	0%	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・園だより以外でも、随時情報発信があります。 ・今回初めてHPでこの評価が見れることを知った。 ・親子登園日に直接報告などがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園行事や様々なトピックスなどHPの活用をより意識します。
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	82%	9%	2%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・注意されている。 ・園だよりで写真などがあると、保護者が適切に扱っているか心配な時がある。 	
非常時	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル	84%	7%	2%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯対策はもう少し講じてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は警察の協力のもと、防犯シュミレーションを行いました。継続して実施するとともに

等 の 対 応	ル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか						に、防犯対策を検討しすすめます。
	⑳ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	90%	5%	0%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練が実施されている。 ・大きな川が近くにあり不安。 ・移動時に子どもの着替えをもったり、ヘルメットを持ったりと意識されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、いざという時に備え、様々な場合を想定した訓練を毎月継続します。
満 足 感	㉑ 子どもは通所を楽しみにしているか	93%	5%	2%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・生き生きと通っている。 ・通園大好きです。 ・毎日楽しく通っている。 ・休みの日でもリュックをもってくる。 ・笑顔で登園している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも子どもたちが楽しい毎日を過ごせるよう、職員一同努めていきます。
	㉒ 事業所の支援に満足しているか	80%	18%	0%	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものことをよく考えて対応してくれて満足している。 ・子どもの発達がいい方向に進んだと実感している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆様からの意見で気づくことが多くあります。今後ともご指導をお願いいたします。

以上の結果を公表いたします。頂いた意見をもとに、保育内容等の改善に努めてまいります。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

園長（管理者） 佐藤明裕
副園長 田辺尚美
療育主任 濱田美穂、小原千里
児童発達支援管理責任者 田部井星一

南部地域療育センターそよ風 2019 年度事業者向け自己評価アンケート集計

公表：令和2年3月18日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		子どもに合わせて遊戯室やベランダなどを活用している	
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		再保持椅子などの移動では小さな段差があり、マットを敷くなどして対応している。子どもの状況に応じた視覚支援、環境の構造化を行っている。	今後も子どもたちの状況に応じて、わかやすい環境づくりをする。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			築 20 年を超えるため、必要な修繕をすすめていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者からの要望アンケートの実施や親の会役員からの意見を伺い、職員集団で検討している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		保護者向け評価をもとに、職員会で検討している。	公開・公表をできる限り速やかに行う。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		行政指導監査に基づく対応を丁寧に行う。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修に積極的に派遣している。	経験年数に応じた研修計画を見直していく。
適切	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			

な 支 援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		職員集団で検討し、作成している。	家族支援をより丁寧におこない、家庭生活への支援、地域支援へとつなげていく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		3 か月ごとに振り返りを行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的に職員会、学年会で検討している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの状況に合わせて日々見直している。	行事等、乳幼児期に経験させたいことや実態から検討していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		クラスでの集団活動を基本とし、個別療育も実施した。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝行っている。参加できない職員は記録を見て確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			日誌記録などを活用し、振り返りの共有ができるようにする。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6 か月で見直しを行う。	基準省令に基づいた書類作成をすすめる。
	関 係 機 関 や 保 護 者 と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて行っている。	
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		施設内の医師・看護師が対応している。施設内でケースカンファレンスを行っている。	

の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		必要な場合に連携している。	
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		引継ぎ資料を必ず送付する。また年度当初に園や学校へ訪問する。	移行後しばらくたってからの状況把握や支援の必要性を検討する。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		同上	同上
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		法人内のセンターや事業所との実践検討など行っている。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		隣接する保育園との交流を目的とした意識的な取り組みを検討する。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		参加している。	地域の事業所と協働のとりくみや研修会などの計画、実施をする。。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		年間通して、研修計画を組み行っている。また、クラスごとの研修も行っている。	父親向けの学習会、交流会について検討したい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		年度当初に行っている。	
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画の書式や懇談のやり方を見直し、保護者との共通理解にやすくなった。	保護者にガイドラインをわかりやすく伝える工夫が必要。
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		毎週1回親子登園日や最低年2回の個人懇談会を実施している。	
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会やそのための役員会を定期的に行っている。	

	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月の園だより、クラスだより、その他行事等のお便りを発行している。	
	個人情報の取扱いに十分注意している	○			十分に注意しているつもりだが、職員の危機管理を徹底するため、定期的な確認が必要。
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		法人の行事を通して、地域との交流を図っている。	
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		必要に応じて見直している。	年1回の不審者（防犯）訓練を実施する。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月行っている。	園だよりで保護者に周知していく。
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		非常時に備えた薬を預かり、発作状況表を準備している。また必要児童については適宜職員会で確認を行う。	
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギー調査を行い、医師の指示に基づいた除去食などの対応をしている。	
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		指定の書式に書き残すようにしている。	翌日の朝礼で報告を徹底していく。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			職員研修計画に組み込む。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		必要な身体拘束について職員集団で検討し、保護者の承諾を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。